



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年4月28日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 剛一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 高島 幸宏 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 2021年4月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	9,899	3.4	689	△44.9	650	△50.6	436	△49.5
2020年12月期第1四半期	9,571	4.5	1,252	—	1,317	—	862	△97.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	15 53	15 53
2020年12月期第1四半期	30 74	30 73

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	127,285	114,827	90.2
2020年12月期	126,026	115,091	91.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 114,817百万円 2020年12月期 115,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
2021年12月期	—				
2021年12月期(予想)		24 00	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,700	9.6	3,800	△19.8	4,100	△17.5	2,700	△22.8	96 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2021年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	28,800,000株	2020年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	714,558株	2020年12月期	714,558株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	28,085,442株	2020年12月期 1 Q	28,072,986株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発・導入活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2020年12月期 第1四半期累計期間	2021年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	9,571	9,899	328	3.4%
営業利益(百万円)	1,252	689	△562	△44.9%
経常利益(百万円)	1,317	650	△667	△50.6%
四半期純利益(百万円)	862	436	△426	△49.5%

売上高は、薬価改定のほか、2020年7月に実施した佐倉工場譲渡に伴う受託製造の終了による減少があったものの、アレルギー領域における販売数量の伸長に加え、「コレクチム軟膏(外用JAK阻害剤)」を2020年6月に販売を開始したこと等により、9,899百万円と前年同期に比べ328百万円(3.4%)増加しました。

各フランチャイズ領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「リオナ錠(高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤)」が主に薬価改定の影響により1,430百万円と前年同期に比べ20百万円(1.4%)減少し、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は薬価改定に加えて後発品の影響もあり1,239百万円と前年同期に比べ276百万円(18.2%)減少しました。なお、「リオナ錠」につきましては、鉄欠乏性貧血を対象とした医療機関への情報提供活動について、2020年6月に当社及びあすか製薬株式会社(以下、「あすか製薬」)が締結したコ・プロモーション契約に基づき、当社は、主に腎臓内科・透析科等、慢性腎臓病領域を有する医療機関に対して、あすか製薬は、主に産婦人科を有する医療機関に対して、2021年3月より共同で実施しております。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が薬価改定の影響により1,164百万円と前年同期に比べ59百万円(4.9%)減少しました。なお、「コレクチム軟膏」は612百万円となりました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法のさらなる普及により「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は1,662百万円と前年同期に比べ319百万円(23.8%)増加し、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は1,474百万円と前年同期に比べ370百万円(33.6%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は4,795百万円と前年同期に比べ345百万円(7.8%)増加し、販売費及び一般管理費は売上連動経費、新製品の発売等に伴う販売費用等の増加により4,414百万円と前年同期に比べ545百万円(14.1%)増加しました。

以上の結果、営業利益は689百万円と前年同期に比べ562百万円(44.9%)、経常利益は650百万円と前年同期に比べ667百万円(50.6%)、四半期純利益は436百万円と前年同期に比べ426百万円(49.5%)とそれぞれ減少しました。

前事業年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、患者様の医療機関への受診抑制傾向が見られることや、医薬情報担当者(MR)の医療機関への訪問自粛等、事業活動に影響が生じておりますが、ITを活用した医薬品の適正使用情報提供活動の拡充等により対応しております。なお、当第1四半期累計期間の業績への影響は軽微です。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、127,285百万円と前事業年度末に比べ1,258百万円(1.0%)増加しました。これは、現金及び預金が2,019百万円減少したものの、有価証券が1,600百万円、商品及び製品が1,596百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、12,457百万円と前事業年度末に比べ1,522百万円(13.9%)増加しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が908百万円、賞与引当金が345百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、114,827百万円と前事業年度末に比べ263百万円(0.2%)減少しました。

(3) 研究開発・導入活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は108百万円です。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な進捗及び成果につきましては、以下のとおりです。

(腎・透析領域)

高リン血症治療剤「リオナ錠」(一般名:クエン酸第二鉄水和物、開発番号:JTT-751)

- 2021年3月、日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)は、当社が販売及び情報提供活動を行っている高リン血症治療剤「リオナ錠」につきまして、鉄欠乏性貧血を新たな効能又は効果として製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。

(皮膚疾患領域)

皮膚疾患治療薬「VP-102」

- 2021年3月、当社は、米国のVerrica Pharmaceuticals Inc.(以下、「Verrica社」)との間で、Verrica社が有する皮膚疾患治療薬「VP-102」につきまして、伝染性軟属腫及び尋常性疣贅を対象とした日本国内における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結しました。「VP-102」は、Verrica社が米国での開発を進めている、伝染性軟属腫等を対象とした皮膚疾患治療薬であり、カンタリジンを有効成分とする外用剤です。現在、Verrica社は、「VP-102」につき、米国で伝染性軟属腫を適応症とした第Ⅲ相臨床試験を終了しております。また、尋常性疣贅については、米国で第Ⅱ相臨床試験が終了しております。

外用JAK阻害剤「コレクチム軟膏」(一般名:デルゴシチニブ、開発番号:JTE-052)

- JTと日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結した外用JAK阻害剤「コレクチム軟膏」につきまして、2021年3月、JTが日本国内における小児患者に対するアトピー性皮膚炎を適応症として、「コレクチム軟膏0.25%」の製造販売承認を取得、併せて「コレクチム軟膏0.5%」の小児患者に対する用法及び用量に係る製造販売承認事項一部変更承認を取得しました。また、6ヵ月以上2歳未満の乳幼児アトピー性皮膚炎患者を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験を実施しております。

(その他)

血漿カリクレイン阻害剤「オラデオカプセル」(一般名:ベロトラルスタット塩酸塩)

- BioCryst Pharmaceuticals, Inc.と日本国内における独占的販売権に関するライセンス契約を締結した血漿カリクレイン阻害剤「オラデオカプセル」につきまして、株式会社オーファンパシフィックが、2021年1月に遺伝性血管性浮腫(HAE)の急性発作の発症抑制を適応症として日本国内における製造販売承認を取得し、2021年4月より当社が販売を開始しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2021年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(2021年2月4日「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,717	1,697
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	27,859	27,546
受取手形及び売掛金	18,957	18,272
有価証券	38,528	40,128
商品及び製品	4,285	5,882
原材料及び貯蔵品	2,866	2,500
その他	527	386
流動資産合計	96,742	96,414
固定資産		
有形固定資産	1,777	1,778
無形固定資産	442	472
投資その他の資産		
投資有価証券	20,810	21,060
その他	6,254	7,559
投資その他の資産合計	27,064	28,619
固定資産合計	29,284	30,870
資産合計	126,026	127,285
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,143	5,408
未払法人税等	41	230
賞与引当金	391	737
役員賞与引当金	13	3
返品調整引当金	3	1
その他	3,868	4,663
流動負債合計	9,461	11,044
固定負債		
退職給付引当金	948	910
その他	525	501
固定負債合計	1,473	1,412
負債合計	10,935	12,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,437	6,437
利益剰余金	104,224	103,986
自己株式	△1,407	△1,407
株主資本合計	114,444	114,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	636	610
評価・換算差額等合計	636	610
新株予約権	10	10
純資産合計	115,091	114,827
負債純資産合計	126,026	127,285

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	9,571	9,899
売上原価	4,449	4,795
売上総利益	5,122	5,104
販売費及び一般管理費		
販売促進費	660	818
給料及び手当	864	854
賞与引当金繰入額	374	378
研究開発費	57	108
その他	1,913	2,253
販売費及び一般管理費合計	3,869	4,414
営業利益	1,252	689
営業外収益		
受取利息	29	34
受取配当金	0	0
為替差益	19	—
その他	15	5
営業外収益合計	64	41
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	58
投資事業組合運用損	—	22
その他	0	0
営業外費用合計	0	80
経常利益	1,317	650
特別損失		
固定資産除却損	3	0
事業構造改革費用	5	—
特別損失合計	8	0
税引前四半期純利益	1,308	649
法人税等	445	213
四半期純利益	862	436

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。